

海外ネットワークと独自のワークフローで商品開発 顧客の要望に応えた多岐にわたる商品を開発

2005年の創業以来、工事用の防護服、ポリシート、建築用の防音シート、防災シート・メッシュなど多様な商品について、海外現地スタッフと連携して世界有数の生産工場をリサーチ。沖縄で商品企画から製造・物流・販売・商品搬送まで一貫して行う独自のワークフローにより、同社ブランドからOEM製品までの商品を海外で生産して販売するファブレス企業。現在、工事用の防護服は米軍用途として年間数十万枚の販売実績を有する。最近では、顧客の要望に応じた多岐にわたる事業を開発。

所在地 沖縄県浦添市牧港2-43-16-1F
電話／FAX 098-879-7642／098-879-7643
URL <https://www.rky.jp/>
代表者 代表取締役 谷中田 洋樹

設立 2011年
資本金 800万円
従業員数 5人



海外ネットワークを活かした商品開発・琉球大学建設材料学研究室との产学共同研究

建設用資材は安全基準への適合に加え、作業性、快適性、安全性、機能性も求められる。同社ではこれらの商品を、海外のネットワークを活用して開発。国内数十工場およびアジア周辺の製造工場を数百社へ訪問調査を行い、製造と技術を理解しながら自社製品の開発を行っている。また、災害現場で活用される耐候性フレコンは通常人工光源を元に耐候性試験を行うが、紫外線量が多い沖縄で独自の耐候性かつ高強度のフレコンと土嚢を開発するため、琉球大学工学部建設材料学研究室との产学連携で暴露試験等の共同研究開発を行う。



建設材料学研究室 辺土名暴露試験場

顧客の要望に沿った製品を独自のワークフローで提供

顧客の要望に沿った高品質な製品を安定提供する独自のワークフローを確立。海外の生産工場に現地駐在員を配置して商品管理と出荷の管理を実施。工場出荷時には沖縄本社で船舶を予約し、輸入時には通関業務を行う。国内上陸後は自社倉庫への搬入と販売(配達)まで自社員にて行うことで、商品企画から製造・物流・販売・商品搬送までの一貫体制を実現。また、海外工場にパレット積載用のプレス機を設置し混載輸入を効率化。受入ではコンテナトレーラーが搬入可能な倉庫の整備と機械導入により生産性を向上。



トレーラーの乗り入れ状況

顧客の声を取り入れた多岐にわたる商品の海外製造をプロデュース

顧客の声を取り入れたオリジナル商品を開発。建設用資材では、消防庁の許可製品を顧客の要望に応じて色の変更や印刷を行うオーダーメイド販売を行い、県内ビールメーカー等へオリジナルのノベルティグッズ提供も実施。また、廃プラスチック原料を再利用可能なチップに加工して中国や韓国等の海外へ輸出する事業や、最近ではコンテナハウスの開発を行う等、多岐にわたる事業を開発。離島部は生コンクリートの単価が高く住宅建設単価が高く住宅が不足しており、コンテナハウスの需要は高い。



中国で内装を仕上げたコンテナハウス